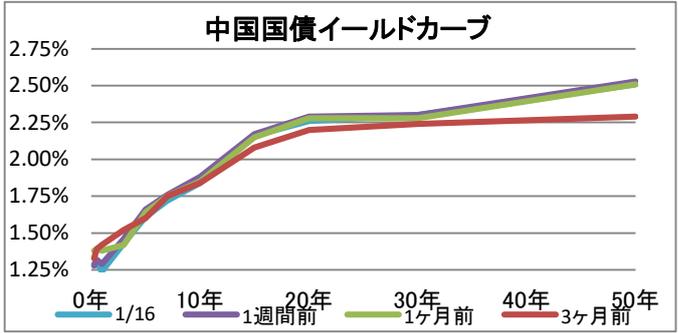
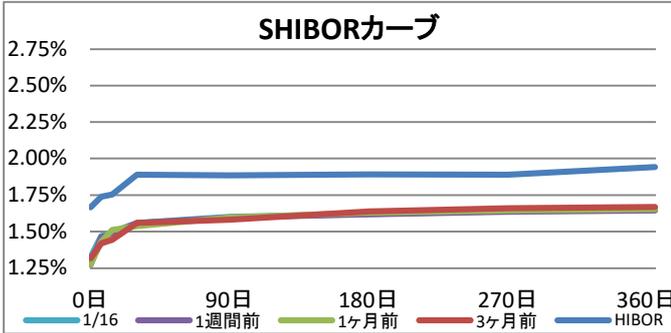


1.市場概況

基準レート		2026/1/16	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0078	-0.0050
	JPY/CNY	4.4041	-0.0551
SHIBOR	3M	1.6000%	+0.0050%
国債利回り	10年	1.84%	-0.04%
上海総合指数		4,101.91	-18.52



(1) 概況

国際金融市場は、トランプ米政権の内政における移民税関捜査局（ICE）を巡る緊張やパウエルFRB議長の刑事捜査、外交におけるグリーンランド領有やイラン内紛介入姿勢への批判が内外で高まる中、雇用指標の改善や金融緩和積極派とみられたハセツト氏の次期FRB議長指名見送りとの見方から債券市場の上値は重く、株式市場はクレジットカード上限金利設定が懸念される金融等を中心に高値を維持できずに下落に転じ、ドルは小動きとなり、金やビットコインが高値で推移する展開。

中国金融市場では、中国人民銀行の積極的な資金供給と一部セクター向けの再貸出金利引き下げ措置等により債券市場では利回りが低下に転じたものの、株式市場はG7蔵相会議でのレアアース中国依存軽減に向けた協議や信用取引保証金比率引き上げを嫌気して反落。外為市場では、ドル安に加えて春節前の季節性の元高圧力が高まる中、中国人民銀行の元安水準での基準レート設定継続や金融緩和期待等により小幅な元高に止まっており、1ドル=6.97元を挟んだ小幅な値動きとなっている。

中国では、習主席がカナダ首相と会談し、相互尊重・信頼・協力、共同发展を通じてパートナー国になることへの期待を示し、李強総理は国務院常務会議を開催し、サービス消費の新たな成長分野を育成する施策を議論し、何副総理はガイトナー元米財務長官と会談し、外資企業の対中投資拡大を通じた互惠協力の深化を歓迎。商務部は、本年の重点業務として、消費拡大や外資誘致の新たな形態構築、対外開放継続や海外向け投資の有効管理等の方針を示し、国家金融監督管理総局は、中小金融機関のリスク解消推進、不動産融資調整メカニズムの推進、地方融資プラットフォームの債務リスクに対する適正な解決支援推進等の方針を示した。中国人民銀行は、農業や中小零細企業、科学技術イノベーション等の重点分野向け再貸出政策の強化措置等を公表し、同行副行長は記者会見で、当該措置が商業銀行による貸出金利引下げ余地を産み出すとの期待に加えて預金準備率の引き下げ余地に言及した。証監会は、本年の業務会議でカウンターシクリカルな調整を適時行い、資本市場の過度な変動を防止する方針を示し、上海・深圳証券取引所は、株式市場での信用取引活発化を抑制するため、保証金比率の引上げを決定。なお、海外投資家の12月末の債券保有高は3.46兆元（約79兆円、前月比-4.2%）と8カ月連続の減少となった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1,387億元、アウトライトリバースオペ期日6,000億元に対して、リバースオペ9,515億元、アウトライトリバースオペ（6カ月）9,000億元を実施し、11,128億元を供給。

(3) 主な経済指標

2025年の輸出額は前年比+5.5%（2024年、+5.8%）、輸入額は同0.0%（同、+1.0%）となり、貿易黒字は1兆1889億ドルと過去最高を更新。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3250%	1.3900%	1.4200%	
1W	1.4700%	1.4800%	1.3500%	1.4300%
2W	1.4960%	1.6000%	1.6000%	1.4500%
1M	1.5580%	1.6200%	1.8200%	1.5200%
3M	1.6000%	2.0000%	1.6100%	1.6000%
6M	1.6200%		1.8500%	1.6200%
9M	1.6400%			1.6200%
12M	1.6500%			1.6300%

中国人民銀行が、積極的に資金供給を行い、一部セクター向けの再貸出金利引き下げを含む金融緩和措置を発表したことから、春節連休が意識され始める中にありながら、資金需給も安定し、金利水準は落ち着いている。ターム物の出合いは限定的ながら、1カ月の1.6%前後の出合いが中心となっている。

NCD市場も、金利水準は安定しており、ターム物の金利水準は、1カ月が1.5%台前半、四半期末越えとなる3カ月は1.6%前後、6カ月以降は1.6%台前半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.57%	3.58%
1W	3.57%	3.60%
1M	3.58%	3.62%
3M	3.60%	3.65%
6M	3.50%	3.65%
12M	3.50%	3.65%

中国国内市場では、引き続き資金需給が安定し、金利水準は一段と低下しており、国内市場の金利水準がオフショア市場を下回る状態が継続し、ターム物は1カ月が3.6%前後、3カ月が3.6%台半ばで出合っている。

3. 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.29%		1.57%	1.64%	1.70%
6M	1.30%		1.61%	1.66%	1.74%
1Y	1.24%	1.32%	1.65%	1.70%	1.82%
3Y	1.43%	1.59%	1.81%	1.84%	2.13%
5Y	1.61%	1.74%	1.85%	1.95%	2.30%
10Y	1.84%	2.06%	2.25%	2.35%	2.83%

米国債券市場は、地政学的リスクの懸念により利回りが一時的に低下したものの、パウエルFRB議長の刑事捜査によるFRBの独立性への懸念や新規失業保険申請件数の減少、金融緩和積極派ハセツ氏の次期FRB議長指名見送りとの見方から弱含む（利回りは上昇）展開となった。

中国債券市場では、春節連休への意識が強まる中、金融緩和方針維持を表明する中国人民銀行の積極的な資金供給や一部セクター向けの再貸出し金利引き下げ実施が発表されたことから、買い戻しから総じて利回りが低下する展開。イールドカーブは、中長期セクターへの資金シフトによりフラットニングに転じ、クレジットスプレッドは短期では信用債の利回りが上昇に転じたことから拡大傾向が続き、中長期は利回り低下幅が概ね同等だったことから変化なし。

この結果、10年米国国債利回りは4.22%（前週末比+5bp）に上昇し、10年中国国債利回りは1.84%（同-4bp）へと低下に転じたことから、利回り差は238bp（同+9bp）へと拡大に転じている。

4. 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-115.5 / -115.0
3M	-315.0 / -314.0
6M	-631.0 / -628.0
9M	-925.0 / -922.0
12M	-1,201.0 / -1,199.0

対ドル基準レートは7.0078と前週末比-50pipsのドル安元高、対円基準レートは4.4041と同-551pipsの円安元高と、対ドル基準レートは引き続き2023年5月以来の元高水準ながら市場実勢対比では元安水準での設定が続いている。

中国国内市場では、ドル安や春節を前にドル売り元買いが増える季節要因に加え、中国人民銀行が基準レートを実勢比元安水準としながらも、徐々に1ドル=7元に近づける設定を続けていることから緩やかな元高を容認しているとの見方が続く中、一部セクター向けながら金融緩和措置が発表されるとドルの下値が堅く（元の上値が重く）なり、1ドル=6.97元を挟んだ狭いレンジ内での取引となった。

先物は、方向感の乏しい展開となり、1年物は-1,200前後の狭いレンジ取引に終始。

5. 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.58%		1.40%
6M	1.54%	1.59%	1.40%
9M	1.51%	1.58%	1.40%
1Y	1.50%	1.58%	1.30%
3Y	1.55%	1.63%	1.40%
5Y	1.63%	1.72%	
7Y	1.70%	1.79%	
10Y	1.80%	1.89%	

金利スワップ市場は、材料難から動意の乏しい展開となったが、スワップスプレッドは、債券利回りが低下したことから、拡大傾向が続いている。

6. その他（週末に公表された経済指標等）

- ・ 欧州連合が安全保障上の懸念から、域内の重要インフラにおける中国製機器の使用を禁止する方針を固めた、との報道。
- ・ トランプ大統領は、グリーンランド領有に反対する欧州8か国に10%追加関税の発動を表明。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。